

## 経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における 令和6年度第2回研究開発課題の募集開始について

JST（理事長 橋本 和仁）は、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想を受け、経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における研究開発課題募集を令和6年5月28日（火）から開始します。

K Programでは、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術を育成するため、国が定めた研究開発ビジョンに基づき研究開発を実施します。

研究開発ビジョン（第二次）は、経済安全保障推進会議および統合イノベーション戦略推進会議合同会議において令和5年8月に決定されました。これを受けて、内閣府および文部科学省が研究開発構想を策定しています。JSTは両府省から示された研究開発構想に基づき、本募集を行います。

今回、JSTは以下の研究開発構想について研究開発課題を募集します。

### （1）プロジェクト型

「耐熱超合金の高性能化・省レアメタル化に向けた技術開発及び革新的な製造技術開発」

公募枠：① 拠点研究開発

② 加工技術に係わる要素技術開発（フィージビリティスタディ）

### （2）個別研究型

「ノウハウの効果的な伝承につながる人作業伝達等の研究デジタル基盤技術」

### （3）個別研究型

「多様な物質の探知・識別を可能とする迅速・高精度なマルチガスセンシングシステム技術」

### （4）個別研究型

「脳波等を活用した高精度ブレインテックに関する先端技術」

公募枠：① 計測技術・素材開発

② 心身状態を把握するシステム開発・検証

③ 計測技術・素材開発および心身状態を把握するシステム開発・検証

研究開発構想（プロジェクト型）に関してはプログラム・ディレクター（PD）が、研究開発構想（個別研究型）に関してはプログラム・オフィサー（PO）が、研究開発ビジョンの達成と研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。研究開発課題の募集は、令和6年5月28日（火）～令和6年8月20日（火）正午まで研究開発構想ごとに実施し、PD、POが外部有識者らの協力を得ながら選考を行います。

詳細はK Programのウェブサイトをご覧ください。

URL：<https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/>

※内閣府ウェブサイトにて公表されたK Programの研究開発構想

URL：[https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen\\_anshin/kprogram.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/kprogram.html)

なお、今後の公募予定・選考スケジュールについては、上記K Programのウェブサイトをご確認ください。

## <添付資料>

別紙：経済安全保障重要技術育成プログラムにおける研究開発課題募集の概要

## <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル

鈴木 至（スズキ イタル）、千田 篤史（センダ アツシ）

E-mail：k-program\_koubo[at]jst.go.jp ※電子メールでお問い合わせください。

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

## 経済安全保障重要技術育成プログラムにおける 研究開発課題募集の概要

### 1. 事業の趣旨

K P r o g r a mでは、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、経済安全保障推進会議および統合イノベーション戦略推進会議が定めた研究開発ビジョンの実現に向け、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想に基づき、研究開発を実施します。

また、K P r o g r a mは経済安全保障推進法における特定重要技術の研究開発の促進およびその成果の適切な活用を目的とする事業に位置付けられています。

### 2. 事業の特徴

研究開発構想には、重要技術の獲得を目指す比較的大規模な研究開発プロジェクトの研究開発構想（プロジェクト型）と、重要技術となり得る要素技術や研究開発プロジェクトの高度化に資する要素技術などの獲得を目指す個別研究の研究開発構想（個別研究型）があります。

研究開発構想（プロジェクト型）に関してはプログラム・ディレクター（P D）が、研究開発構想（個別研究型）に関してはプログラム・オフィサー（P O）が、研究開発ビジョンの達成および研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。

また、関係府省との情報共有や意見交換の場などとして協議会が設置される予定です。

### 3. 募集期間

令和6年5月28日（火）～令和6年8月20日（火）正午

### 4. 今回J S Tが研究開発課題を募集する研究開発構想

#### （1）プロジェクト型

「耐熱超合金の高性能化・省レアメタル化に向けた技術開発及び革新的な製造技術開発」

公募枠：① 拠点研究開発

② 加工技術に係わる要素技術開発（フィージビリティスタディ）

P D：中島 英治（国立高等専門学校機構 理事）

#### （2）個別研究型

「ノウハウの効果的な伝承につながる人作業伝達等の研究デジタル基盤技術」

P O：八木 康史（大阪大学 産業科学研究所 教授）

#### （3）個別研究型

「多様な物質の探知・識別を可能とする迅速・高精度なマルチガスセンシングシステム技術」

P O：都甲 潔（中村学園大学 大学院栄養科学研究科 特任教授）

#### （4）個別研究型

「脳波等を活用した高精度ブレインテックに関する先端技術」

公募枠：① 計測技術・素材開発

② 心身状態を把握するシステム開発・検証

③ 計測技術・素材開発および心身状態を把握するシステム開発・検証

P O：伊佐 正（京都大学 大学院医学研究科 教授）

※募集内容の詳細はK P r o g r a mのウェブサイトから公募要領をご確認ください。

## 5. 提案者の主な要件など

提案者は、国内に研究開発拠点を有し日本の法律に基づく法人格を有している機関に所属する日本の居住者であることが必要です（ここでいう居住者とは外為法の居住者（特定類型該当者を除く）であること）。

※その他の応募要件については公募要領 2. 2 をご確認ください。

## 6. 研究成果などの取り扱いについて

### (1) 研究成果の取り扱い

研究成果は、公開です。

### (2) 知的財産の取り扱い

研究開発により生じた特許などの知的財産権は、委託研究契約に基づき、産業技術力強化法第17条（日本版バイ・ドール条項）に掲げられた事項を研究開発機関などが遵守することなどを条件として、原則として研究開発機関などに帰属します。

※詳細は公募要領 3. 3 をご確認ください。

## 7. 提案の受付方法

### <応募方法>

「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）ポータルサイト

URL : <https://www.e-rad.go.jp/>

### <公募要領、選考スケジュール>

詳細はK Programのウェブサイトをご確認ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/>

K Programにおける研究開発の推進にかかる業務を行う研究推進法人はJSTおよび新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）となります。

NEDOが行うK Programの公募情報は下記ウェブサイトをご確認ください。

URL : <https://www.nedo.go.jp/activities/k-program.html>

## 8. 今後の公募予定

今後の公募予定・選考スケジュールについては、K Programのウェブサイトをご確認ください。

## 9. 募集に関するお問い合わせ先

科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル

E-mail : [k-program\\_koubo\[at\]jst.go.jp](mailto:k-program_koubo@jst.go.jp) ※電子メールでお問い合わせください。

以上